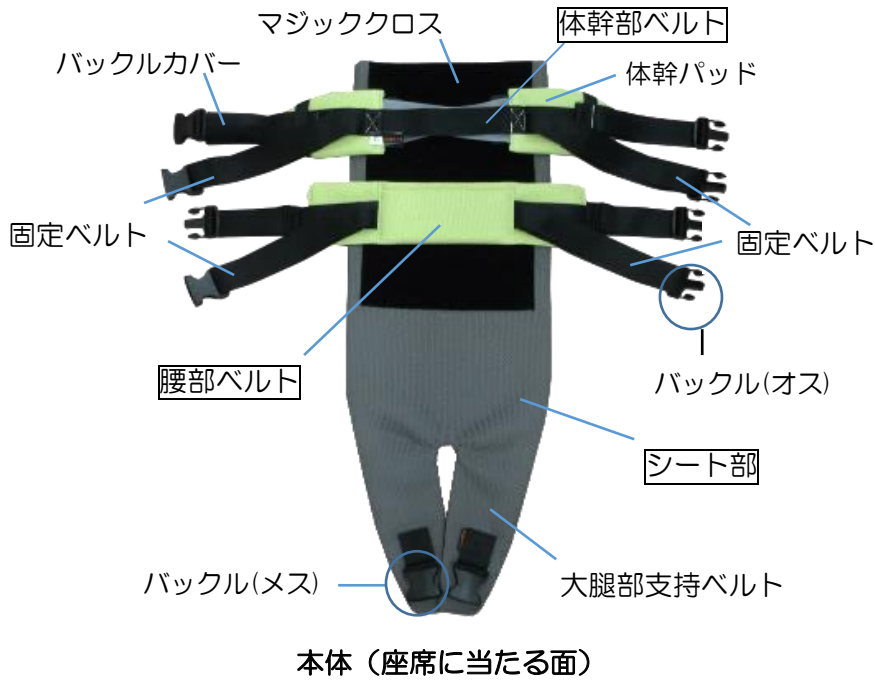


各部の名称



腰部ベルト、体幹部ベルト、
ずり落ち防止ベルトは
シート部から取り外せません。

ずり落ち防止ベルト
(付属品)



本体ベルトの長さ調節方法 (オス・メス共通)

短くする (しめる)



バックルを傾け、
ベルトの端を引っ張る

長くする (ゆるめる)



バックルを傾け、下(本体側)
のベルトを引っ張る

体幹部ベルト(体幹パッド)の向き



体幹パッドには左右が
あります。正しい方向に
セットしてください。

サイズタグとLeeタグ
が付いているほうが左
(左手側のパッド)です

基本の装着方法 (椅子の場合) ※状況に応じて異なります

初回ご使用時は、使用される方の体格に応じて、ポジショニングを行ってください

- ◆シート部、腰部ベルト、左右の体幹パッドの位置を、お子様の体型に合わせて調整してください。少し調整するだけで、更にしっかりサポートされるのがお分かりいただけます。
- ◆初回ご使用時に位置が決まれば、2回目からは再調整の必要はありません。

① BODYプラスを椅子にのせる

椅子の角(座面と背もたれの境目)にシート部の横の縫い目を合わせます。〔基本の位置〕

この位置を基準に、お子様の体格により、その方にとっての適切な位置にセットしてください。

バックルを留める際、指などを挟まないようご注意ください



初回ご使用時は 腰部ベルトと体幹パッドの位置が決まっていないので、
下記の目安の位置にセットして一度試乗していただき、位置を調整してください。

腰部ベルト…座ったときの大腿部の高さより上
体幹パッド…脇より下

② 2本の固定ベルトをしめる

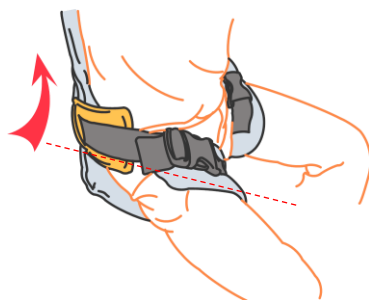
固定ベルトを椅子の背面でバックル留めし、ベルト先端を引っ張り固定します。

③ お子様を座らせる

④ 大腿部支持ベルトをしめる

腰部ベルトと大腿部支持ベルトをバックルで留め、ベルト先端を引っ張ります。

本人に確認しながら大腿部支持ベルトの張りの強さを調整します。※張りすぎないようにご注意ください



腰部ベルトの位置が低すぎると、ベルトがゆるむ場合があります

⑤ 体幹パッドの調整

背面または側面から体幹パッドの位置を調整します。

調整ができれば体幹部ベルトを留めて、付け具合の確認をします。



上体が倒れやすい場合は、体幹パッドを高めの方にセットします。

⑥ 体幹部ベルトをしめる

体幹部ベルトの先端を引っ張り、締め具合を調整した後、バックルカバーをかぶせます。

※締めすぎないようにご注意ください。



⑦ 全体の確認

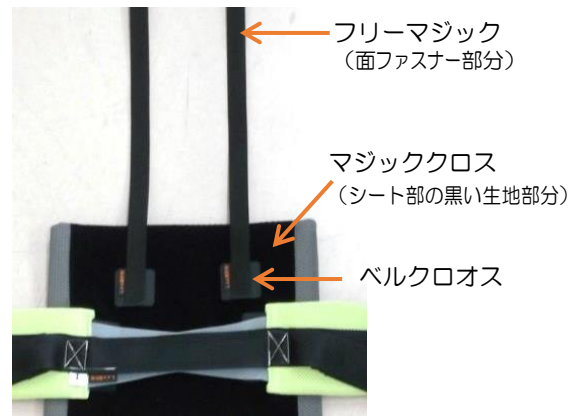
ベルトがねじれていないか、バックルが固定されているか、ベルトの強さ、安定性などを確認してください。

ずり落ち防止ベルトの使用例 (付属品：シート部や固定ベルトが下がってしまう場合にお使いください)

- ① ずり落ち防止ベルト 2 本のベルクロオスを、マジッククロスに貼り付けます。

貼り付ける左右の間隔や位置は、背もたれの高さや形状により異なります。

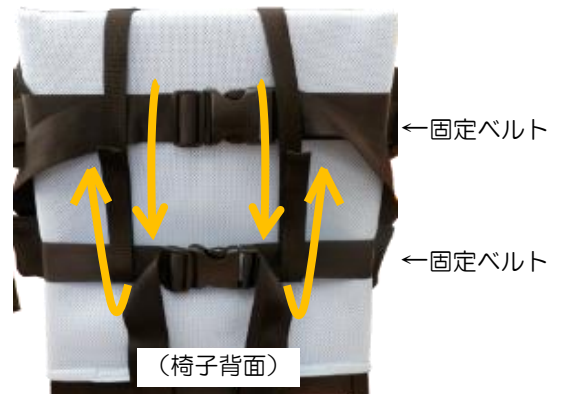
低い位置に付ける場合は、ずり落ち防止ベルトを体幹部ベルトとマジッククロスの間を通して付けてください。



- ② 上下の固定ベルトどちらかの下を通してから、折り返してフリーマジック部分を重ねるとくっつきます。

BODY プラスが吊り下げられる形になり、ずり落ちを防ぎます。

ご使用の際、フリーマジックやベルクロオス (チクチクする面) が衣類など他の生地素材に触れると傷める恐れがありますのでご注意ください。



補助ベルトの使用例 (オプション別売)

シート部が浮き上がるのを防ぎます。前ずれ防止に。腰を持ち上げてしまう方、身体をよく動かすので姿勢が崩れてしまう方などにおすすめ



- ① BODY プラスを椅子にセットします。
- ② 補助ベルトを椅子の角に近い位置に巻き、バックルを留め、ベルトの端を引っ張り固定します。

※補助ベルトを固定できない形状の座席には使用できません。

椅子以外の使用例 (横固定ベルトの場合)



車いすや
シャワーチェアで



カーシートや
飛行機のシートで

Lee 製作室
<http://www.lee-lee.jp>

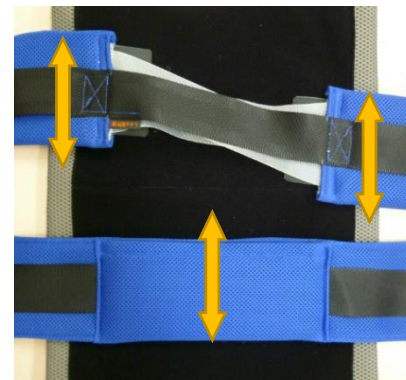
♥Lee 製作室は姿勢保持具「オリジナル福祉用具」を提供します

〒910-0374 福井県坂井市 丸岡町北横地 40-9
TEL0776-50-1105 FAX 0776-50-1106

クロスYベルト BODY プラスをお求めいただきまして、誠にありがとうございます。当製品がお役に立てれば幸いです。
この取扱説明書は、クロスYベルト BODY プラス（以下、BODY プラスと表記）を適切にお使いいただくための項目を記載しています。
正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずお読みいただき、いつでも見られるように大切に保管してください。
予告なく仕様変更を行うことがありますので、お手元の製品と本書が一部異なる場合があります。（固定ベルト縦タイプは別の説明書があります）
最新の取扱説明書をホームページ(<http://lee-lee.jp>)の商品ページからダウンロードできます。

特徴

- 骨盤保持機能と前ずれ防止機能で、姿勢の崩れを防ぎ、背筋の伸びた良い姿勢を保つことができます。
- 体幹から骨盤までを一体的に保持します。
- 重度の変形を伴う障害を持たれている方でも、様々な座席に載せてご使用いただけます。
- 体幹部の変形に応じて、最適な位置・角度で支えることができます。
- 大腿部でサポートするので局部を圧迫しません。
- 股関節の内転防止効果があります。
- 3Dメッシュの3層構造で、除圧効果があり、蒸れや熱こもりがなく快適です。
- パーツの分離が簡単で、手軽に洗えるので清潔に使えます。
- 腰部ベルトと左右体幹パッドの位置を手軽に調整できるので、複数の方の使用にも適しています。
- 装着が簡単で、さまざまな場面で使えます。（座席の仕様により適さない場合があります）
- コンパクトなので持ち運びが簡単です。
- 多動傾向のある方のカーシート補助具としてもご利用いただけます。



位置を手軽に調整できます

安全上のご注意 <必ずお守りください>

- 不安定な座席で使用しないでください。
- バックルをはじめ、製品が傷ついた状態で使用しないでください。
- この製品は車のシートベルト替わりにはなりません。
- 椅子が転倒しないようご注意ください。
- 姿勢保持の目的以外での使用はしないでください。
- ベルトの緩みすぎ、締めすぎにご注意ください。
- バックルがしっかり固定された状態でご使用ください。
- お子様をのせたまま放置しないでください。介助者の方の目が届く範囲でご使用ください。
- 改造しないでください。
- 破損や事故に繋がるような乱暴な扱い方をしないでください。
- 長期の使用により腰部ベルトおよび体幹パッドのベルクロの吸着力が落ちた場合は、シート部を交換してください。（シート部のみでも販売しています）

取り付けできない座席

- 固定ベルトが留められないサイズ・形状の座席
- 背もたれがない、または 低すぎる座席
- 安定していない座席
- その他、本製品を固定できない座席

サイズとお子様の身長目安

サイズ対応表

サイズ	M	L
身長目安	70cm-130cm	120cm-

個人差がありますのであくまでも目安です。
体格によって異なる場合があります。
調整のしかたでこの目安以外の方が使用できる場合があります。

お手入れ

- シート部は洗濯機で洗濯することができます。漂白剤や乾燥機は使用できません。
- 必ず洗濯ネットに入れて単独で洗ってください。
（バックル類の損傷を防ぐため、他の洗濯物を傷めないため）

家庭洗濯等取扱い方法



ネット使用
弱く絞る

主材の組成 表地 ナイロン 78% ポリエステル 22%
内部メッシュ ナイロン 75% ポリエステル 25%
バックル 樹脂製品 (POM)

仕様

手作り品のため数値に誤差が生じます

サイズ	幅(シート部)	全長(シート部)	重さ
M	30cm	72cm	約 1.0kg
L	35cm	93cm	約 1.2kg

固定ベルト長さ : 約 160cm (最長周囲)

すり落ち防止ベルト 長さ: 約 60cm

<パーツ構成と主な素材>

シート部	ポリエステル(生地)、ナイロン(ベルト)、プラスチック(バックル)
腰部ベルト	ポリエステル(生地)、ナイロン(ベルト)、プラスチック(バックル)、
体幹部ベルト	ポリエステル(芯材)
すり落ち防止ベルト	ポリエステル(面ファスナー)、ポリウレタン(テープ)

廃棄の際は、お住まいの自治体の分別ルールに従って処分してください